

行政視察等報告

(会派 公明党)

<視察目的>

- ・千葉県 幕張メッセ 「スーパーマーケットトレードショー」
全国47都道府県が特産品を出店する日本最大のトレードショーの視察
- ・東京都 にほんばし島根館
店舗内見学、販売商品の調査
- ・東京都 監査法人 長隆事務所
公立病院の医療存続についてセミナー研修
- ・参議院議員会館
自治体戦略2040構想研究会について講演、研修

<視察概要一覧>

視察月日	視察・研修先	視察施設	視察内容
平成31年 2月13日 (水)	千葉県千葉市	幕張メッセ	スーパーマーケットトレードショー視察
	東京都中央区	にほんばし島根館	店舗見学
平成31年 2月14日 (木)	東京都新宿区	長隆事務所	公立病院の医療存続について 長税理士のセミナー研修
平成31年 2月15日 (金)	参議院議員会館	研修室	自治体戦略2040構想について

<視察概要報告>

1. スーパーマーケットトレードショー

●概要: 全国47都道府県が地元の特産品を出品し、商談を行う日本最大の展示会・見本市の見学をし、島根県ブースの視察とその中の安来の企業の出店、出品状況の調査を行う。



<考 察>

全国 47 都道府県がそれぞれの特色を生かし、自社のアピールをされていてとても活気ある催物でした。島根県ブースでは 27 企業・団体が出展されていて、そのなかで安来は 2 社のみでした。出展料が高いからなのかわかりませんが、安来にはさまざまな特産品があるのでもう少し多くの企業・団体が参加されてもいいのではと感じました。そのための県・市の助成制度などの充実を図るべきではないかと思いました。

2、にほんばし島根館

●概 要：店舗見学及び安来市の特産品の出品状況の調査

<考 察>

東京の一等地と言ってもいいほどとても立地条件のいいところに「にほんばし島根館」がありました。島根の特産品がここに来れば購入できるとあって、店内は多くの人で賑わっていました。当然のことながら安来の名産も陳列されていて、売り上げがとても気になりました。当館は周辺開発に伴い来年で閉館になるとのことですが、維持管理費も多く必要となることから新たな場所での営業再開はないようです。東京在住の方々がふるさとを思う気持ちになれるのもここではないかと思うと閉館されるのはとても残念でなりません。



ぜひとも移転して新たな場所で、島根の PR も合わせ、営業されることを望みます。

3、監査法人 長隆事務所

●対応者：監査法人長隆事務所 代表社員 公認会計士 長 隆氏、
総務省地方公営企業等経営アドバイザー 税理士 夏莉千昌氏

●概 要：公立病院の医療存続について

※ 以上の内容で説明を受ける

<考 察>

安来市立病院経営については安来市にとって大きな課題であります。毎年の一般会計からの繰入金、また補正に伴う予算措置、また一時借入金を利用するという、様々な制度を利用しての経営がここ数年続いています。しかし、市の財政も厳しい中、病院への繰入金が今後さらに膨らんでいくことは容認できません。



今後の市立病院の在り方も含め、長先生、夏莉税理士に様々なお話を伺い、少しでも経営改善ができるよう今後の対策について研修させていただきました。とりわけ「独立行政法人化」で立て直しをされてきた状況を様々伺い、今後、安来市も十分検討していく余地があると実感しました。

病院についてはさまざまな経営形態がありますが、「独立行政法人化」を含めた今後の経営の在り方を安来市としては早急に協議され、病院経営改善に何としても取り組んでいただきたいと切に願います。

4、参議院議員会館 研修室

●対応部署：総務省自治行政局 2040 戦略室

●概要：自治体戦略 2040 構想研究について

※ 以上の内容で説明を受ける



<考察>

2025年問題は今までさまざまところで何度も聞いてきたことですが、今回はさらにその先の2040年構想という、団塊世代のジュニアが高齢者になるときを想定し、国として人口減少に対する対策をどのようにしていくのか、国は常に先々の事を考え、データに基づく分析の元、今後新たな指針を示していくとの説明がありました。

安来市も急速に人口減少が進んできています。

～人口減少下において満足度の高い人生と人間を尊重する社会をどう構築するか～
今回のこの研修テーマのように、今後各自治体は創意工夫しながら、我が街の構築をどのようにしていくのか。今後の大きな課題であると感じました。